

『新編八戸市史 通史編Ⅱ 近世』正誤表

頁	誤	正
7頁 目次／3行	御仕送制	御仕送り制
17頁 本文／8行	〈ルビ〉よしたか	削除
20頁 本文／10行	〈ルビ〉わけくださる	〈ルビ〉わけくださるる
20頁 本文／11行	〈ルビ〉だいぜんだいぶ	〈ルビ〉だいぜんのだいぶ
23頁 表9キャプション／2行	…は不明	…は不明
23頁 本文／14行	(二一七石)三名	(二一七石)ら三名
31頁 本文／12行	九年間	十四年間
31頁 本文／14行	飛地	飛び地
38頁 図34キャプション／4行	正徳3年卒	正徳3年卒。
44頁 図42／19行	9 100石以上の	9 100石以下の
45頁 図44注記	「勤」「目」より作成。	「勤」、「目」より作成。
46頁 図45注記	「勤」「目」より作成。	「勤」、「目」より作成。
51頁 図53キャプション／1行	「江戸図鑑綱目坤」	「江戸図鑑綱目 坤」
53頁 本文／17行	同閏正月二十六日	同正月二十六日
55頁 図59キャプション／2行	目	勤
58頁 本文／1行	〈ルビ〉おんたく	〈ルビ〉おんけい
61頁 本文／8行	飛地	飛び地
	四か村	四力村
62頁 本文／7・12・17行	高辻帳	高辻帳
63頁 本文／4行	高辻帳	高辻帳
65頁 本文／2行	〈ルビ〉そうろうにんずうおぼえ	〈ルビ〉にんずうおぼえ
65頁 表76キャプション／1行	御改二付(漢字)	御改二付(カタカナ)
65頁 本文／5行	二万一五九八	二万一五九八八
65頁 本文／11行	宝暦一二年(一七八二)	宝暦一二年(一七六二)
68頁 本文／6行	飛地	飛び地
69頁 図83キャプション／1行	6月時点の	貞享2年6月時点の
74頁 本文／16行	不自然が	不自然な
78頁 タイトル	時代の概要	時代の概観
82頁 本文／13行	文政三年(一八一九)	文政三年(一八二〇)
82頁 本文／14行	文化七年(一八一〇)	文化八年(一八一二)
84頁 本文／10行	士	士〈ルビ〉さむらい
86頁 タイトル	御仕送制	御仕送り制
87頁 見出し	御仕送制	御仕送り制
90頁 本文／6行	馬給奉行	馬印奉行
92頁 本文／9行	三三歳	三六歳
96頁 図17キャプション／2行	道中双六	道中雙六
97頁 脚注1／1行	*1(ゴシック体)	*1(明朝体)
98頁 本文／7・8行	中里家	湊家
98頁 表18注記	(八笠図)	(八図笠)
99頁 脚注2／1行	*2(ゴシック体)	*2(明朝体)
99頁 本文／16行	飛地	飛び地
100頁 図22キャプション／1行	道中双六	道中雙六
100頁 本文／16行	道中双六	道中雙六
101頁 図23キャプション／4行	一章の47・49・53	一章の46・47・53
104頁 本文／6行	明和九年	安永元年
111頁 脚注3／1行	*3(ゴシック体)	*3(明朝体)
114頁 図40 B721 時刻	■	削除
115頁 図41		南部左衛門尉の敷地を赤で囲む
115頁 脚注4／1行	*4(ゴシック体)	*4(明朝体)
126頁 本文／14行	西蝦夷地	東蝦夷地

頁	誤	正
127頁 本文／18行	天保八年(一八三八)	天保九年(一八三八)
129頁 本文／2行	天明卯辰梁	天明卯辰築
132頁 本文／5・15行	天明卯辰梁	天明卯辰築
134頁 図9キャプション／2行	留書。	留書
135頁 本文／1行	天明飢饉の	飢饉の
135頁 本文／2行	二〇基	一七基
137頁 本文／19行	ハツ時	八つ時
138頁 本文／11行	〇石文	〇文
140頁 本文／17行	文化元年(一八〇八)	文化元年(一八〇四)
143頁 本文／13行	飛地	飛び地
146頁 本文／8行	立花平之助	立花半之助
146頁 本文／9行	菅恒太郎	菅恒太郎
149頁 本文／8行	飛地	飛び地
149頁 本文／16行	実地明細図	実地明細絵図
	錦風楼	錦楓楼
150頁 本文／10行	四八年	四七年
157頁 本文／10行	〈ルビ〉ちねがわ	〈ルビ〉ちとせがわ
157頁 本文／11行	土蜘蛛右衛門	土蜘蛛塚右衛門
166頁 本文／4行	〈ルビ〉ちねがわ	〈ルビ〉ちとせがわ
170頁 図61キャプション／1行	島津家・八	八戸南部(八を次行へ)
170頁 図61キャプション／2行	南部家抱屋敷(赤囲み)	南部家抱屋敷
188頁 本文／15行	寛政十年(一七九八)	寛政十一年(一七九九)
190頁 本文／7行	小前居	小間居
196頁 本文／7行	大山格太郎 (綱良、巖、鹿兒島藩)	大山格之助 (綱良、鹿兒島藩)
	※1(ゴシック体)	*1(明朝体)
197頁 脚注1／1行	※1の文章を196ページへ移動	
197頁 脚注1	※1の文章を196ページへ移動	
212頁 本文／10行	明治五年	明治四年
224頁 タイトル	漁獲高	漁獲税
224頁 本文／7行	鰯漁獲高	鰯漁獲税
224頁 図3キャプション／ タイトル目盛	漁獲高	漁獲税
225頁 本文／16行	〈ルビ〉はげあみ	〈ルビ〉はげあみ、つぶれあみ
226頁 本文／9行	鮫村に一口	鮫村に二口
230頁 本文／17行	〈ルビ〉もちこし	〈ルビ〉もっこし
236頁 本文／2行	一五二八〇文	一五貫二八〇文
240頁 図25キャプション／1行	昭和58年	昭和57年
	新井田川の梁	新井田川の築
243頁 脚注1／1行	*1(ゴシック体)	*1(明朝体)
247頁 本文／2行	順栄丸	順永丸
260頁 図51キャプション／1行	柳谷又八	柳屋又八
269頁 本文／3行	文録頃の	文禄頃の
274頁 本文／12行	計四一工	計四六工
283頁 図2キャプション／1行	道中双六	道中雙六
283頁 図3／図中	盛岡藩飛地	盛岡藩飛び地
284頁 図4／図中	売市堤、沢里堤、類家堤、 鍛冶丁堤、館越堤	売市堤、沢里堤、類家堤、 鍛冶丁堤、館越堤
285頁 図5キャプション／1行	道中双六	道中雙六
288頁 図11キャプション／3行	梅の代金	馬の代金
288頁 本文／14行	椀木・寺田	椀の木・寺田

頁	誤	正
290頁 本文／4行	番屋と、市野沢の	番屋と市野沢の
298頁 表23中／長さ	(晴山村橋) 15五間 (伊保内村橋) 15五間	(晴山村橋) 15間 (伊保内村橋) 15間
303頁 本文／2行	八戸市十六日町	八戸市朔日町
305頁 図32キャプション／2行	日本山海名物図絵	日本山海名物図会
322頁 本文／12行	金一三両二人扶持	金一三両三人扶持
328頁 図22キャプション／2行	日本山海名物図絵	日本山海名物図会
339頁 表40／西暦	寛文12年 1671	寛文12年 1672
342頁 図43キャプション／2行	日本山海名物図絵	日本山海名物図会
350頁 本文／2行	和漢三才図絵	和漢三才図会
350頁 本文／10行	布海苔・太布などの海産物を	布海苔などの海産物や太布を
353頁 図58キャプション／2行	江戸名所図絵	江戸名所図会
360頁 本文／3行	〈ルビ〉きたゆう	〈ルビ〉きだゆう
366頁 本文／7行	十八日町 〈ルビ〉じゅうはちにちまち	廿八日町 〈ルビ〉にじゅうはちにちまち
380頁 表37／年代	宝永4年 宝永9年 天保12年 (1840)	安永4年 安永9年 天保12年 (1841)
383頁 本文／1行	明和六年 (一七六七)	明和六年 (一七六九)
384頁 本文／4行	角栖折	角柄折
391頁 脚注1／1行	※1 (ゴシック体)	*1 (明朝体)
393頁 脚注2／1行	※2 (ゴシック体)	*2 (明朝体)
414頁 本文／3行	新殿開き	新御殿開き
419頁 図17／図中	売市堤、沢里堤、類家堤	売市堤、沢里堤、類家堤
420頁 本文／6行	すべて宅地化	売市堤を除いて宅地化
422頁 図20キャプション／3行	区分けされた衛区	区分けされた街区
427頁 本文／19行	同七年に	同六年に
428頁 本文 15行	十三日町に近江屋と大塚屋	十三日町に大塚屋、三日町に近江屋
429頁 本文／18行	土屋村井小右衛門	十一屋村井小右衛門
456頁 図中・注記	盛岡藩飛地	盛岡藩飛び地
467頁 図15キャプション／1行	「天明卯辰梁」の写本	「天明卯辰梁」の写本
467頁 表16／注記	天明卯辰梁	天明卯辰梁
468頁 本文／2行	〈ルビ〉えんめいうたつやな	〈ルビ〉てんめいうたつやな
471頁 図22キャプション／1行	慶応3年	慶応2年
472頁 表23／西暦	宝暦12年 1763	宝暦12年 1762
474頁 本文／13行	巳の刻 (午前九時過ぎ)	巳の刻 (午前十時ころ)
474頁 本文／14行	禅源寺縄手	禅源寺躰手
475頁 本文／10行	その猛勢言語に絶え	其猛勢言語に絶え
475頁 本文／11行	暇あらず	違あらず
475頁 本文／12行	榎葺き屋根	榎葺屋根
475頁 本文／13行	仏神に祈るのみ	仏神を祈るのみ
475頁 本文／14行	被害また更に多大にして (中略) 共に十八ヶ所	被害又更に多大にして (中略) 共に大小十八ヶ所
475頁 本文／15行	流失また落橋せり	流失又落橋せり
479頁 図32キャプション／1行	天明卯辰梁	天明卯辰梁
484頁 表／番号9	明和5年 (1786)	明和5年 (1768)
484頁 表／番号14	妙森天保飢饉供養塔	砂森天保飢饉供養塔
491頁 本文／9行	道中雙六	道中雙六
492頁 本文／2行	僧侶が四人、農民が一人、 女性が八人の計一一〇人	僧侶が六人、農民が一人、 女性が八人、分類不可が五人で、計一一七人

頁	誤	正
498頁 本文／16行	菊地大叔	菊池大叔
499頁 表26／23行	菊地大叔	菊池大叔
500頁 本文／19行	明治元年 (一八六七)	明治元年 (一八六八)
507頁 表39	福聚山涼雲院の寺格欄から「十」を取り、紫雲山来迎寺の寺格欄を「十」とする	
510頁 本文／5行	頂戴	頂戴
511頁 本文／6行	飛地	飛び地
514頁 図49キャプション／1行	常泉院	常泉院屋敷
514頁 図49		常泉院の敷地を赤で囲む
517頁 脚注1／1行	※1 (ゴシック体)	*1 (明朝体)
522頁 図65キャプション／3行	「田植えり」	「田植えり」
534頁 一覧墓No.1／戒名	清凉院殿前金吾次将天性自心大居士	清凉院殿前左金吾次将天性自心大居士
534頁 一覧墓No.2／没年月日	元禄12年 (1699) 2月16日	元禄12年 (1699) 3月16日
539頁 脚注1／1行	*1 (ゴシック体)	*1 (明朝体)
556頁 本文／14行	延享元年 (一七四五)	延享元年 (一七四四)
560頁 上段／13行	「諸事覚書」[]	「諸事覚書」
561頁 上段／29行	高辻帳	高辻帳
561頁 中段／9・26・28行	高辻帳	高辻帳
562頁 中段／10行	天明卯辰梁	天明卯辰梁
562頁 下段／13行	高辻帳	高辻帳
567頁 下段／2行	高辻帳	高辻帳
571頁 上段／15行	高辻帳	高辻帳
571頁 下段／19・21行	道中雙六	道中雙六 (各行に2箇所)
574頁 上段／26行	図版番号26 日本山海名産図絵	図版番号26 日本山海名産図会
575頁 上段／8・10行	道中雙六	道中雙六 (各行に2箇所)
577頁 上段／25行	図版番号57 日本山海名産図絵	図版番号57 日本山海名産図会
578頁 下段／14行	図版番号15 飢饉卯辰梁	図版番号15 飢饉卯辰梁
578頁 下段／27行	図版番号32 飢饉卯辰梁	図版番号32 飢饉卯辰梁
586頁 年表	万延元年8.9蛇口伴水 天保8年3.13是川大火 天保9年2.13大地震	万延元年8.9蛇口伴蔵 天保8年3.9是川大火 削除
587頁 年表	天保9年2.26島津篤之丞信真の嗣子に 嘉永5年5.8藩主江戸着	天保9年2.26島津篤之丞、 信真の嗣子に 削除
588頁 年表	文政2年3.15焔硝領内一手被仰付	文政2年3.15焔硝領内一手 仰付けられる
589頁 年表	天明5年5.1藩主江戸発	削除
590頁 年表	安永元年3.5江戸屋敷焼失	削除
591頁 年表	宝暦10年4.4藩主江戸着	宝暦10年4.5藩主江戸着
594頁 年表	貞享3年2.26盗人の妻子 元禄5年2.1湊橋を架ける	貞享3年12.26盗人の妻子 元禄5年4.18湊橋完成
594頁 年表	元禄11年12.14鯨網漁を許可	元禄11年11.14鯨網漁を許可 ※場所を11.21の前に移動
595頁 年表	延宝3年3.6法華寺住職殺害 天和2年12.3米買い占め禁止	延宝3年3.6法華寺住職殺害の詮議入札 天和2年11.21米買い占め 禁止 ※場所を12.1の前に移動